



編集・発行

特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会
URL: <http://www.tochi-shinkyo.org/spo.html>
〒320-8508 宇都宮市若草1丁目10番6号
とちぎ福祉プラザ内
TEL.028 (624) 2761 (FAX兼用)
発行人 石橋俊一

会長就任のご挨拶



特定非営利活動法人
栃木県障害者スポーツ協会

会長 石橋 俊一



私事、去る6月25日の役員会で会長に選任された後、役員各位をはじめ、栃木県及び各市町村ご当局、栃木県社会福祉協議会等の関係諸団体、並びに一般財団法人栃木陸上競技協会などスポーツ関係諸団体のご支援・ご協力を得てその任を果たして参りました。

わが栃木県障害者スポーツ協会は、平成元年4月に発足後、昨年度までで24年を迎えました。その間、初期の目的通り県障害者スポーツ大会をはじめとして全国障害者スポーツ大会や世界大会への参加を目標に、障害者スポーツの振興のために競技内容の充実・強化に尽力する一方、障害者スポーツ指導員の養成、関係障害者スポーツ組織への支援、スポーツ競技の開発・普及などに取り組んで参りました。さらにこれらを継承しながら、去る4月から特定非営利活動法人（NPO法人）の認可を受け、文字通り公的な組織として認知されたことで今年は歴史的な一頁の幕開けの年となりました。

周知のとおり、障害者スポーツが組織的に取り組まれるようになったのは、昭和39年に開催された「東京オリンピック」が契機で「全国身体障害者スポーツ大会」が岐阜県で開催されたのを皮切りに各都道府県持ち廻りで開催され、身体障害者の皆さんの社会活動として定着したことからでした。これらに加えて国際的レベルの障害種別ごとのスポーツ大会も誕生しわが国からの参加者も増え、競技理論や技術も充実し注目されるようになり国際化されたことです。

また、わが国内における瞠目すべき変化は、先発した「全国身体障害者スポーツ大会」が後発の「全国知的障害者スポーツ大会」（ゆうあいピック）を受け止め統合して「全国障害者スポーツ大会」として今年で「第13回大会」が終わり今日に至っていることです。

そして特筆すべきことは、わが栃木県で昨年「障害者スポーツフェスタ」を開催し、今年も開催することです。これは、障害者スポーツを県民のみなさまが身近に実体験することにより、障害者スポーツへの一層の理解と協力を得る機会とすることです。

これは、障害の有無を問うことなく人として共存し共生することを人類の最終目標と掲げ今や国際的な課題とされている「ノーマライゼーション」をスポーツを通じて具現化することに繋がるものです。これが実現出来るよう障害者の皆様の一層の努力と県民のご協力、ご支援をお願い致しましてご挨拶にかえさせていただきます。

第13回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京2013）

【主 催】厚生労働省、公益財団法人日本障害者スポーツ協会、東京都ほか

【期 日】平成25年10月12日(土)～14日(月)

【会 場】味の素スタジアムほか



開会式・入場行進



開会式



炬火点火



フライングディスク



バレーボール

栃木県選手の競技結果

金メダル12個、銀メダル13個、銅メダル14個

「東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート」をスローガンに、第13回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京2013）が、平成25年10月12日（土）～14日（月、祝）の3日間、東京都で開催されました。

栃木県選手団は、選手・役員あわせて76名が参加し、個人競技（陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリング）と団体競技（聴覚男子バレーボール）に出場しました。団体競技（聴覚男子バレーボール）については、初出場ながら準決勝まで勝ち進み、4位の成績を収めました。栃木県選手団のメダル獲得数の合計は39個となり、過去最高の成績となりました。なお、出場した選手の競技結果は、下記のとおりです。

陸上競技

	氏 名	所 属	居住地	性別	障 害	種 目	結 果		備考
							記録	順位	
1	五十嵐 和徳	五十嵐漆器㈱	日光市	男	肢体不自由	100m	30秒50	1	
						200m	50秒41	1	
2	渡辺 類	のぞわ特別支援学校	宇都宮市	男	肢体不自由	ジャベリックスロー	3m92cm	5	
						100m	40秒14	3	
3	奈良田 栄一	さつきF P事務所	鹿沼市	男	肢体不自由	ソフトボール投	42m16cm	3	
						砲丸投	8m69cm	4	
4	磯 絵理菜	(特非)手仕事工房そら	益子町	女	知的	100m	16秒88	6	
						200m	36秒79	8	
5	水沼 勇平	ハイコーパック㈱ (芳賀町社会福祉協議会)	芳賀町	男	知的	100m	13秒30	6	
						200m	27秒73	7	
6	水沼 幹行	ハイコーパック㈱ (芳賀町社会福祉協議会)	芳賀町	男	知的	立幅跳	2m52cm	2	
						100m	13秒22	6	
7	奥山 春奈	益子特別支援学校	真岡市	女	知的	400m	1分10秒16	2	
						1500m	5分35秒20	2	
8	道上 沙季	益子特別支援学校	真岡市	女	知的	立幅跳	2m06cm	1	
						100m	14秒89	4	
						4×100mリレー	50秒70	2	
9	小太刀 徹	栃木特別支援学校	鹿沼市	男	知的	100m	12秒41	2	
						200m	25秒08	2	
						4×100mリレー	50秒70	2	
10	黒田 優矢	栃木特別支援学校	鹿沼市	男	知的	100m	12秒49	3	
						200m	25秒98	5	
11	辻野 海登	那須特別支援学校	那須塩原市	男	知的	ソフトボール投	48m93cm	6	
						100m	12秒23	1	
						4×100mリレー	50秒70	2	
12	井上 春菜	南那須特別支援学校	さくら市	女	知的	100m	15秒40	4	
						200m	32秒27	2	
13	天野 麻美	南那須特別支援学校	那須烏山市	女	知的	1500m	5分48秒79	3	
						100m	14秒66	3	
14	茂垣 修平	南那須特別支援学校	那須烏山市	男	知的	100m	12秒37	3	
						200m	25秒49	3	
						4×100mリレー	50秒70	2	
15	洪井 文夫	富屋特別支援学校	宇都宮市	男	知的	100m	12秒68	4	
						200m	25秒78	3	
16	服部 玲緒	富屋特別支援学校	鹿沼市	男	知的	100m	12秒72	3	
						200m	26秒76	4	

卓球

	氏 名	所 属	居住地	性別	障 害	種 目	結 果		備考
							記録	順位	
1	井出 智恵美	聾学校	野木町	女	聴覚障害	卓球	5点	1	
2	古森 徹也	聾学校	宇都宮市	男	聴覚障害	卓球	2点	3	
3	加藤 輝夫	大田原市	大田原市	男	肢体不自由	卓球	4点	1	
4	齊藤 キヨ江	宇都宮市	宇都宮市	女	視覚障害	S T T	3点	2	
5	阿久津 智泰	(福)希望の家	鹿沼市	男	知的	卓球	3点	4	
6	望月 虹太	野木中学校	野木町	男	知的	卓球	2点	3	

水泳

	氏 名	所 属	居住地	性別	障 害	種 目	結 果		備考
							記録	順位	
1	齋藤 宏一	足利市	足利市	男	肢体不自由	背泳25m	36秒22	1	
						自由形50m	1分00秒49	1	
2	小室 元気	(福)光誠会	宇都宮市	男	肢体不自由	自由形50m	49秒46	4	
						背泳50m	1分04秒75	1	
3	駒崎 茂	総和中央病院	宇都宮市	男	肢体不自由	平泳ぎ25m	26秒35	1	大会新
						バタフライ25m	31秒40	2	
4	中村 光章	益子特別支援学校	芳賀町	男	知的	平泳ぎ25m	20秒32	5	
						平泳ぎ50m	45秒42	7	
5	鈴木 奈美江	南那須特別支援学校	那須烏山市	女	知的	バタフライ25m	21秒94	6	
						自由形50m	40秒07	5	

フライングディスク

	氏 名	所 属	居住地	性別	障 害	種 目	結 果		備考
							記録	順位	
1	脇島 廣吉	日光市	日光市	男	肢体不自由	アキュラシーディスリート5	9 投	1	
						ディスタンス・立体・男子	25m13cm	3	
2	森岡 武之	日光市	日光市	男	肢体不自由	アキュラシーディスリート5	6 投	5	
						ディスタンス・立体・男子	16m68cm	6	
3	古口 正文	宇都宮南郵便局	宇都宮市	男	肢体不自由	アキュラシーディスリート5	6 投	7	
						ディスタンス・立体・男子	31m23cm	4	
4	臼井 柊人	のざわ特別支援学校	壬生町	男	肢体不自由	アキュラシーディスリート5	6 投	4	
						ディスタンス・立体・男子	25m10cm	8	
5	滝田 光義	(福)エルム会 エルムの園	大田原市	男	知的	アキュラシーディスリート5	7 投	4	
						ディスタンス・立体・男子	27m29cm	7	
6	小曾根 光男	美里学園	益子町	男	知的	アキュラシーディスリート5	8投	3	
						ディスタンス・立体・男子	24m65cm	6	
7	小林 和弥	(株)国際資源 リサイクルセンター	芳賀町	男	知的	アキュラシーディスリート5	9投	1	
						ディスタンス・立体・男子	47m32cm	2	
8	星野 桃也	国分寺特別支援学校	小山市	男	知的	アキュラシーディスリート5	7 投	4	
						ディスタンス・立体・男子	46m25cm	2	
9	富島 めぐみ	国分寺特別支援学校	小山市	女	知的	アキュラシーディスリート5	9投	2	
						ディスタンス・立体・男子	34m43cm	4	
10	尾形 恒	栃木特別支援学校	鹿沼市	男	知的	アキュラシーディスリート5	8投	4	
						ディスタンス・立体・男子	46m72cm	2	

ボウリング

	氏 名	所 属	居住地	性別	障 害	種 目	結 果		備考
							記録	順位	
1	前原 隆司	ヨークベニマル大田原店	大田原市	男	知的	ボウリング	421	3	

栃木県誕生140年記念 第9回栃木県障害者スポーツ大会の報告

第9回栃木県障害者スポーツ大会は、9月29日（日）、県総合運動公園ほか2会場で開催されました。県内各地から選手及び関係者が約5,000名参加し、陸上競技など9競技で熱戦を繰り広げました。開会式では『のざわ特別支援学校』の渡辺類選手が選手代表宣誓を行いました。



開会式



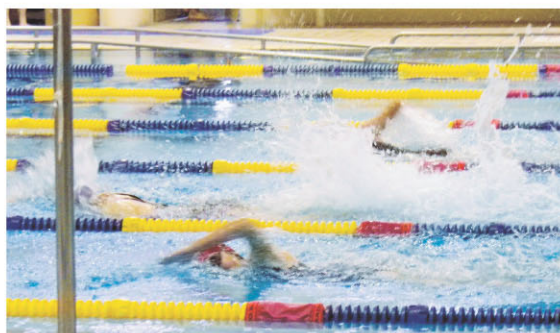
陸上競技



フライングディスク



グランドソフトボール



水泳



卓球



車椅子バスケットボール

障害者スポーツ総合推進事業の報告

当協会では、障害者が日頃からスポーツ活動に親しむことができる環境づくりを推進するため、「ひろげよう・ふかめよう・つなげよう」をスローガンに『障害者スポーツ総合推進事業』を展開しています。

- (1) ひろげよう（裾野拡大）・・・障害者スポーツキャラバン活動事業、障害者スポーツ体験事業、障害者スポーツフェスタ開催事業
- (2) ふかめよう（競技力向上）・・・障害者スポーツアカデミー事業
- (3) つなげよう（交流・連携）・・・障害者スポーツ審判員養成事業、障害者スポーツコーチクリニック事業、障害者スポーツ指導員ステップアップ事業

障害者スポーツキャラバン活動事業

県内の学校・企業等に向けて障害者スポーツ選手等を派遣し、講話や実技体験をとおして障害や障害者スポーツへの理解を促進することを目的として実施しました。
10月末までに17回実施し、1,343名が参加しました。



9月13日(金)宇都宮市立中央小学校

障害者スポーツ体験事業

身近な場所で継続的にスポーツを楽しむため、障害者及びサポートをしている方を対象として各種の障害者スポーツの体験教室を開催しました。(年間8回を予定)

5月25日(土)・・・ウォーキング、参加者13名

6月8日(土)・・・ボッチャ、参加者18名

6月22日(土)・・・ビームライフル、参加者28名



6月8日(土)わかくさアリーナ、ボッチャ

障害者スポーツアカデミー事業（個人競技）

全国大会等で活躍が期待できる選手の育成強化を図ることを目的として、県内外から実績のある指導者を講師として招き、延べ3日間の練習会を開催しました。

練習会には陸上競技に16名、卓球に20名が参加し、レベルアップを図りました。



9月1日(日)県総合運動公園、陸上競技

障害者スポーツアカデミー事業（団体競技）

知的障害バスケットボール本県代表チームと聴覚障害バレーボール本県代表チームの強化を図ることを目的として、県内外から実績のある指導者を講師として招き、延べ4日間の練習会を開催しました。

練習会にはバスケットボールに18名、バレーボールに19名が参加し、レベルアップを図りました。



9月8日(日)わかくさアリーナ、バスケットボール

宇賀耶選手（デフリンピック女子バレーボール）に県スポーツ功労賞

7月26日からブルガリアで開催され「第22回夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013」に、バレーボール日本代表選手として本県から若原正享（わかはら まさゆき）選手、宇賀耶早紀（うがや さき）選手が出場しました。デフリンピックは4年に1度開催される聴覚障害者によるスポーツ世界大会で、今回は75か国の地域から約5,000人の選手・役員が参加しました。日本からは選手149人がバレーボールなど12競技に参加しました。このたび銀メダルを獲得したバレーボール女子日本代表メンバーの宇賀耶選手に、知事特別表彰の「県スポーツ功労賞」が贈られました。



8月30日(金)県庁内で行われた表彰式



7月11日(木)県庁内で行われた激励会

平成25年度初級障害者スポーツ指導員養成研修会の報告

6月29日（土）、7月6日（土）、9月29日（日）、11月17日（日）の4日間、とちぎ福祉プラザを主会場として（公財）日本障害者スポーツ協会公認初級障害者スポーツ指導員養成研修会を開催しました。今回の研修会には31名が受講し、12月14日（土）に最終日を迎えますが、全日程を修了すれば初級スポーツ指導員としての認定資格が取得できます。



フライングディスクの指導法

平成25年度障害者スポーツ教室の報告

障害者が、身近な地域でスポーツに親しむことができる環境づくりを目的として、開催を希望する各市町を対象としてスポーツ教室を開催しました。今年度は、年間19回の教室を計画し、既に17回を実施し、602名が参加しました。



6月9日(日)下野市南河内体育センター

賛助会員の皆様のご支援に感謝いたします

本協会の活動にご賛同をいただきありがとうございます。皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

● 個人会員の皆様 ●

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 山本 真次 | 2. 佐々木 清美 | 3. 薄井 幸子 | 4. 勝島 富美子 |
| 5. 森本 宏美 | 6. 石村 育子 | 7. 寄川 朋未 | 8. 仲丸 靖男 |
| 9. 川村 博行 | 10. 服部 隆志 | 11. 村上 八郎 | 12. 深谷 明功 |
| 13. 小澤 洋子 | 14. 亀山 久美枝 | 15. 佐藤 直久 | 16. 竹内 義明 |
| 17. 青木 信夫 | | | 他11名 |

● 団体会員の皆様 ●

- | | | |
|----------------|------------|----------------------------|
| 1. リスランニングチーム | 2. 佐野市体育協会 | 3. 企業組合労協センター事業団宇都宮地域福祉事務所 |
| 4. 岩舟町身体障害者福祉会 | 5. (有) コパン | 6. 電機連合栃木地方協議会 |
| | | 他1団体 |

特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会は、平成元年に任意団体として発足し、障害者スポーツの振興を通して、障害者の健康の保持・増進と社会参加の促進、生きがいのある豊かな生活の実現を支援してきました。

この度、団体としての基盤強化を図るため、特定非営利活動法人（NPO法人）格を取得し、賛助会員を募集させていただくこととしました。

当協会活動の趣旨・目的にご賛同されます方は、ぜひとも賛助会員として登録していただきますようお願い申し上げます。

個人会員・・・年会費一口 3,000円
団体会員・・・年会費一口 5,000円

※入会を希望される方、ご不明な点等ございましたら当協会までお問い合わせください。

当協会ではホームページを開設し、各種情報の公開を進めております。



協会HP (<http://www.tochi-shinkyo.org/spo.html>) にアクセス！



この機関紙は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。